

第7回 恵那市恵那南地区統合中学校準備委員会
幹事会（会議録）

会議の名称	第7回恵那市恵那南地区統合中学校準備委員会 幹事会
開催日時	令和7年9月4日（木） 午後7時00分から
開催場所	岩村コミュニティセンター 2階大会議室
議題	・承認事項 課題No.3 校章の制定について 課題No.4 校訓の制定について 課題No.5 制服・体操服・かばん・上履きについて 課題No.6 閉校記念式典について 課題No.7 開校記念式典について 課題No.14 P T Aの組織運営に関すること 課題No.16 教育課程等、教育内容に関すること 課題No.17 学校行事に関すること 課題No.23 予算計画に関すること
公開非公開の別	公開
出席者	委員 安藤 善和 原田 英明 渡邊 康正 後藤 琢磨 安藤 常雄 深谷 友康 教育委員会 岡田 庄二 工藤 博也 鈴木 幸宣 丸山 頼彦 柄澤 史枝 瀬瀬 千尋 山本 晋平 郷田 賢 安部 尚紀 市川 太一
会議の内容	会議録のとおり

事務局 皆様、こんばんは。本日はお忙しい中、またお仕事等でお疲れの中お集まりいただきまして、誠にありがとうございます。

定刻になりましたので、ただいまより第7回恵那市恵那南地区統合中学校準備委員会幹事会を開会いたします。

本日の司会は、教育委員会事務局の市川が務めさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。着座にて進行させていただきます。

恵那市恵那南地区統合中学校準備委員会設置要綱第8条の規定によりますと、幹事会は理事会において検討、決定すべき、承認すべき事項をあらかじめ協議、調整する組織でございます。

本日は理事会の承認、決定を求める事項といたしまして総務部会から5件、環境整備・PTA・コミスク部会から1件、教育活動・学校事務部会から3件の提案でございます。

つきましては、幹事の皆様におかれましては、本日これらの案件についてご協議いただきたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

では、会議に先立ちまして、本日の出席状況を報告させていただきます。本日は全7名の幹事のうち6名の幹事の皆様にご参加いただいておりますので、ご報告させていただきます。

それからもう一つ、会議に入る前に資料の確認をさせていただきます。事前に送付させていただきましたこちらのホチキス止めされております資料、それから本日、机上にて配付させていただいております差し替えの課題整理シートの資料、お手元にごございますでしょうか。よろしいですか。ありがとうございます。

なお、本日もインターネットで音声配信を行いますので、皆様ご承知おきのほど、どうぞよろしくお願いいたします。

1 挨拶

事務局 それでは、次第に沿って説明させていただきます。

1 番、挨拶でございます。

教育長よりご挨拶申し上げます。

教育長 皆さん、こんばんは。今、台風が近づいてきていて、これから雨も降るようですので、そっち心配もありながらのこの貴重な時間で幹事会を開かせていただきました。ご参加いただきまして、本当にありがとうございます。

ちょっとお話しさせていただきますと、明日台風も近づいてくるとのこと、それから雨も降るというようなことで、市内の小中学校は休校ということで、事前に連絡をさせていただいております。大きく降らなければいいですし、余り降らなかったねというふうになれば、それでいいのかなと思っていますけれども、そんな措置を行ったところでございます。

日頃それぞれの部会でもいろんな検討をしていただきまして、今日はその中で検討されたものが幹事会ということで、9題ございます。十分ご意見をいただきたいと思いますところでもございますし、余り時間もかけて遅くなると心配なことも

ございますので、的確なご意見をたくさんいただきながらも、スムーズな進行ができるといいなと思っています。

また、これから理事会、最後には総会までつながっていきますので、少しここどうかなというようなことがございましたらご意見いただきまして、よりいいものを提案できていくといいなと思っていますので、どうぞよろしくお願いいたします。

2 議題

事務局 それでは議題に入ります。

今、お話ございましたが、スピーディな議事の進行に皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

それでは、課題3番、校章の制定についてでございます。

総務部会より説明をお願いいたします。

事務局 統合準備室の安部と言います。よろしくお願いいたします。着座にて説明させていただきます。

まず、議題に入る前に、資料の1ページ目にあります課題整理シートについて説明させていただきます。事前に送付させていただきました資料にある課題整理シートですが、記載内容を一部追加しましたので、本日新たなものを配付させていただきました。申し訳ございませんが、本日配付いたしました課題整理シートを御覧ください。

表の中の課題整理状況の欄に「済」が入っている課題につきましては、理事会で決定、総会で承認された課題となります。丸印があります課題につきましては、部会での調査、検討を終え、今日の幹事会で提案する課題となります。

今回は9つの課題を提案いたします。それ以外の4つの課題につきましては、現在の整理状況を記載しておりますので、併せてご確認ください。

それでは資料の2ページ目をお願いいたします。

課題ナンバー3、校章の制定についてになります。

校章のデザインの募集、選定につきましては、事務局が主体となり進めてまいりました。作品の募集は、今年の3月から5月にかけて広く一般公募を行い、78作品の応募があり6月から7月にかけて一次選定から三次選定までを行い、最終的に4作品を選出しました。

選出された4作品で、南地区の小中学生とこども園及び小中学生の保護者を対象に7月中旬から8月上旬にかけて投票を行い、投票結果につきましては、作品ナンバー4の作品が最多得票となりました。総務部会では、投票の結果で最多得票の作品を部会案とすることを決めていただきましたので、作品ナンバー4のデザインを校章として理事会のほうへ提案していく予定でいます。

以上になります。

事務局 ありがとうございます。

ただいまの説明につきまして、理事会へ提案することも踏まえ、何かご意見、ご質問等ありましたらお願いいたします。よろしいでしょうか。ご意見ござい

ませんか。

それでは、課題ナンバー3、校章の制定については、この内容で理事会に提案させていただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。（「異議なし」と呼ぶ者あり）ありがとうございました。

では、続きまして、課題ナンバー4、校訓の制定について、総務部会より説明をお願いいたします。

総務部会長 総務部会の山本より説明させていただきます。着座にて説明させていただきます。

3ページのほうにあります。この課題ナンバー4の校訓の制定については、昨年の理事会で校訓という形にとられず、校長会と事務局で学校教育目標を定めるといったことが承認されました。そのため、先月の総務部会で確認された教育目標を本幹事会で提案して承認を得て、最終的に理事会、総会で審議をお願いするそういった流れになります。

恵那南中学校の教育目標案ですが、「世界の人と未来を語り合う生徒」です。この教育目標は、そこにある県や市の方針、それから統合準備委員会の3つの柱、さらには基本構想にある国内外に発信することの大切さ、ICT環境の整備、国語力の向上、インバウンドを見据えた英語力の強化などを整合させて作成しております。

総務部会のほうでは世界は大きすぎるのではないか、もっと身近な表現がよいのではないかといったようなご意見をいただきました。確かに、遠くの国をイメージすると抽象的に聞こえますが、実際にはこの世界というのは地域の中にあるものとして捉えております。観光や仕事、結婚などで来日する外国人の人は増え続けています。この恵那市も例外ではありません。ちなみに私の家族も例外なく、突然、娘が外国から旦那を連れてきて、今、同居しているそういったような状況があります。本当にこの世界というのは他人事ではない、そういったような実感があります。

彼らは文化の違いにも戸惑いながらも、地域に根差して頑張ろうとしています。子供たちの地域であったり家庭であったり、そういったところにも突然外国から来た家族が引っ越してくる、そういったことが起こり得ることもあります。だからこそ子供たちは地域のよさを生かしながら外国の人と協力して、地域をさらに活性化していく力を身につけていく必要があります。

そのときに大切なのが、自分の考えを臆せずに分かりやすく相手に伝える力です。そうすることで、この恵那南地区の豊かな文化を次の世代につなげていくことができるということを考えています。

子供たちは5つの中学校が1つになり、それぞれの学校で育んできた世界から恵那南中学校という大きな世界へ広がりを実感します。その広がりのおかげで体験している子供たちだからこそ、この世界の人と未来を語り合うことの大切さを理解して学びに生かしていける、そんなことを考えています。この教育目標の下で教育活動を進めていきたいと思っています。

それでは、後藤校長先生のほうからもよろしくお願いします。

校 長 校長部会でもこのテーマを話し合いました、今は5人中学校長がいますが、唯一私だけがこの恵那南地区の住民としてずっと生きております。私の住んでいる地域は18軒の家があるんですけど、10年後は半分の9軒になると思います。さらに10年たつと6軒が残る可能性があるだけです。その6軒のうち一つ、私の家も入れておるんですけど、可能性は3割になります。多分私たちで終わってしまうと思います。

基本構想の中にある未来をつくる、人とつながる、そして地域と歩む、ここの地域と歩むことを私はこの59年間地元で歩んできたんですけど、地域衰退の歩みを一緒に歩んでいたようなもので、本当に心苦しいというかつらい今の状況です。

確かに郷土愛とかいろいろ子供たちが学んできて、故郷はいいなと思ってますよ。でも遠くにあると思うものになっています。自分は遠くで活躍する。でもいつかここにまた帰ってきて、またでも遠くで活躍する。ここは山岡の私の地元はそういうところにあるものになってきてしまったんです。

では、そのまま衰退した地域これからどうしていくかという、鍵になるのは入って来てくれる外国の方です。だからここにある世界というのは世界へ羽ばたこうというんじゃなくて、必然的に地域を活性化させ、地域と歩もうとすると、入って来てくれるたくさんの外国の人と今の地元のよさを語り、地元の伝統を一緒に引き継ごうとし、でも新しい地元を一緒につくっていこうよという必然的に未来を語り合うということが目の前に迫っておるということですよね。だから、子供たちに10年後、20年後を考えたら、そういう力をつけられるように頑張っていこうよという学校にしていきたいと。

これまでの学校教育目標でもいいんですよ。とても。知、徳、体、それから主体性とか社会性とか郷土愛が盛り込まれたいいものなんですけど、10年後、20年後を見据えた新しい学校をつくらうとすると、今のキーワードは世界の人と語るというのがキーワードになると思うんです。多くの学校はまだこのキーワードを入れてないんですよ。でも、新しい学校をつくるチャンスにこの言葉を入れたいなというふうに思って、一緒に提案させてもらいました。

以上です。

事務局 ただいまの説明につきまして、理事会へ提案することも踏まえ、何かご意見、ご質問等ありましたらお願いいたします。

よろしいでしょうか。よろしいですか。

それでは課題ナンバー4、校訓の制定についてはこの内容で理事会に提案させていただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。（「異議なし」と呼ぶ者あり）ありがとうございます。

では、続きまして課題ナンバー5、制服・体操服・かばん・上履きについて、総務部会より説明をお願いいたします。

総務部会長 そうしたら資料の4ページをお願いいたします。

課題ナンバー5、制服・体操服・かばん・上履きについてになります。

制服、体操服につきましては、資料の写真にありますデザインに投票で決まり

ました。前回の理事会、総会にて報告をしております。かばん、上履きにつきましても、校長会からの提案を受けたもので、前回の理事会、総会に報告をしております。

5 ページの上になるんですが、③の制服（ブレザー）のボタンデザインの投票になります。

資料にありますデザイン案についてですが、校章の投票で最多得票を獲得したデザインを使用した2案と、あとサポート業者のカンコーより提案を受けた2案、そして右側にある少し分かりにくいですが、これ無地のデザインになりますが、計5案で9月9日を期限に、現在、南地区の小中学生とこども園及び小中学生の保護者を対象に投票を行っております。

総務部会では投票の結果、最多得票を取ったボタンデザイン案を部会案とするということを決めていただいておりますので、ボタンデザインが決定され次第、課題ナンバー5については、部会での検討事項が終わりますので、理事会へ提案していく予定でいます。

以上になります。

事務局 ただいまの説明につきまして、理事会へ提案することも踏まえ、何かご意見、ご質問等ありましたらお願いいたします。どうぞ。

委 員 今回は校章の制定ということで、校章がこのような作品ナンバー4で決まったというような状況の中で、ボタンのデザイン案についてはこの5つがございますが、今回の校章についての決定を踏まえた流れで、生徒あるいは保護者に情報提供されているかどうか、この点はいかがでしょうか。

事務局 保護者に関しては、オンラインというインターネットを使って投票してもらっているんですけど、そこの投票のページのところに校章のデザインで、最高得票を取ったもので、ボタンのアンケートを取るということは周知をしております。併せて子供につきましても、学校のほうで投票していますが、併せてそういった校章の投票で最高得票を取ったデザインを使ったボタンデザインを投票するということで、学校の先生のほうにはしてあります。

委 員 そうすると左から1つ目、2つ目、これがそれぞれそのようなイメージかなというようなところですね。

事務局 そうです。

委 員 分かりました。

以上です。

事務局 ほかにご質問等はございませんでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは課題ナンバー5、制服・体操服・かばん・上履きについては、この内容で理事会に提案させていただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。

（「はい」と呼ぶ者あり）ありがとうございます。

では、続きまして、課題ナンバー6、閉校記念式典についてと、課題ナンバー7、開校記念式典について、併せて総務部会より説明をお願いいたします。

事務局 資料の5ページになります。

課題ナンバー6の閉校記念式典について説明させていただきます。

閉校記念式典は、来年の3月21日の土曜日と、3月22日の日曜日の2日間
にわたり、資料の表にあるように各学校ごとに行う予定でいます。式典につ
きましては、儀式的な内容として各学校と教育委員会が主催で執り行いま
す。

次に、課題ナンバー7の開校記念式典になります。

開校記念式典は、来年の4月7日の火曜日に行う予定でいます。式典につ
きましては、5校の校長と教育委員会で儀式的な式典内容を検討し、教育
委員会が主催で執り行います。

課題ナンバー6の開校記念式典、課題ナンバー7の開校記念式典につ
きましては、総務部会においてただいま説明した内容で、理事会へ提案す
ることを確認しております。

以上になります。

事務局 ただいまの説明につきまして、理事会に提案することも踏まえ、何かご意見、
ご質問等ございましたらお願いいたします。よろしいでしょうか。

それでは、課題ナンバー6、閉校記念式典についてと課題ナンバー7、開校
記念式典については、この内容で理事会に提案させていただきたいと思
いますが、よろしいでしょうか。（「異議なし」と呼ぶ者あり）ありがとうございます。

では、続きまして、課題ナンバー14、PTAの組織運営に関することにつ
いて、環境整備・PTA・コミスク部会より説明をお願いいたします。

環境部会長 それでは、課題整理シートナンバー14ですが、PTA組織運営に関すること
ということでございます。

これについては私自身の頭の整理も含めて少しお話しさせていただきますと、
やはりPTAというのは今後の学校運営について非常に大切なものでありま
すので、それぞれ昨年度については3回ほど部会で協議を進めてございま
す。また、併せて準備委員会にて協議を進めておりました。

その中で、やはり今後のPTAの運営については、現在の2年生の保護者の方
を中心に検討を進めるべきではないかというような意見も出まして、これ
を踏まえながら恵那南中学校PTA活動検討会議というのを3回ほど設けて
ございます。これを踏まえまして、8月にこの部会を開催いたしまして、
運営に関して取りまとめを行ったという次第でございます。

それでは、事務局から説明をよろしくをお願いいたします。

事務局 環境部会の丸山から説明をさせていただきます。

お手元の資料の6ページを順に説明させていただきます。

まず、検討の経過でございます。環境部会の中で一番検討した中でPTAの組
織運営に関しましては、大前提として保護者と学校をつなぐ組織体として、
やはりPTAは設置していくと、これがまず大前提に捉えております。

その中で、実際に実施していく当事者が考えてもらうということが一番よい
という中で、令和7年度のPTA役員、あと統合後の8年度の保護者、こう
いう方からなる検討会議体制としまして、協議を行ってきたところでござ
います。

②にありますように、各5地区の代表の方々、そして2名の教頭先生を合
わせた11名で3回ほど協議を重ねてきました。それを受け、環境部会
で取りまと

めを行わせていただいております。

7ページの③の中の1つ目、活動内容と予算について、このように方針を決めました。活動内容としましては、まず広報紙、これは年3回発行、講演会を年1回企画していこう。環境整備、どこの学校でも今まで行っていましたが、これは人数の関係もあり、3年生の保護者での対応で可能であろうということ。あと一番重要な会費、これは年、会員1人につき年額3,000円としましょうよというところが主な内容でございます。

この下にありますまとめに至るまでの意見の中で、やはり一番大きかったことは、一番上にありますポチで開校直後は特にやっぱり学校への関心の高まり、そして地域にも広く周知をしなきゃいけないこういう考えの下で、生徒の様子をタイムリーに発行するため、広報紙を年3回発行していこうということ。

ただし、この3番目のポチにありますように、活動が負担になっていけないので、開校当初のPTA活動は極力少なくして、必要な活動を開校後、順番に加えていくという考え方で進めていこうということにしております。

それらを踏まえまして、その活動に係る費用を年間約90万円ほどというふうな試算の下、会員数が300人とした場合、年間費3,000円という形で、3,000円という年会費を想定しております。

次の8ページを御覧ください。

組織と役員構成になります。どういう組織で行うかというところです。まず、PTAの本部役員、これは各地区5地区から3年生の保護者の男女各1名、そして2年生の保護者を1名、合計15名で構成しようじゃないかということ。そして3つ目のチョボにありますように、過去に小中のPTA会長を経験した者は、これは立候補する場合を除いて、役員は選出しないようにしていきましょうよということ。

あと役員は会長、副会長、会計、書記、広報、家庭教育、理事、幹事、こういうものを置き、役員以外では各学級には学級委員を選出、そして学級委員から各学年の学年委員長を選んでいこうとしております。

この決め方のポイントとしまして下にあります。まとめに至るまでの意見の中で、やはり開校直後は特にそれぞれ5つの各地域の伝統や今まで培ってきた伝統や意見、これをPTAに反映していく必要があるため、各地域から本部役員をやはり選出する必要があるという考えの下、もう一つこの3つ目にあるように、男性ばかりに偏らず、女性の意見もやはり反映していくべきということで、あえて男女1名ずつという文言も入れておるということです。

9ページがそのイメージになっております。それぞれの地区、令和8年度はこのような感じで15名、そして1年過ぎた令和9年度は、その2年生の保護者が今度3年生の保護者になるので、新たにその保護者は1年間残っていただき、3年生の保護者からまた選出、そして1年生の保護者ですので、令和9年度ですと2年生になります。その保護者から選出していただくと、こういう形で繰り返して人数を確保していこうというものでございます。

4番目のその他ですけれども、やっぱり、今、各地域では資源回収のボックス

があるというところでしたら、各地域でやはり運用が異なっておるこれを、今回の中学校で統一するというのではなく、まずは予算化はちょっと見送ろうというふうに考えました。

それともう一つが、2つ目にありますこれらの活動内容は開校時の方針を示すものであって、その役員数であったり活動内容については、開校後やはり必要に応じて見直しを行っていかうというものでございます。

それと、今回のこの資料に書いてはございませんが、PTAというものは皆さんの総意でもって動くということで、入会の確認これを全ての保護者に行って、会員を決定した上での組織体としたいというものでございます。

このように、PTAの組織体を考えておりますので、まとめさせていただきます。よろしくお願いいたします。

事務局 ただいまの説明につきまして、理事会へ提案することも踏まえ、何かご意見、ご質問等ありましたらお願いいたします。どうぞ。

委員 1の活動内容の設定で、まとめに至るまでの意見の一番最初で、開校直後は特に恵那南中学校の関心が高まり、地域にも広く周知すべきと考えとありますが、この広報というのは地域にどういうふうに配られるとか回されるとかそういう。PTAの中だけじゃなくて、外に出す。

事務局 今回の考えの中では、保護者はもちろん各振興事務所を通しながら、各地域の方々への周知を行っていきたいという形を考えております。

委員 予算的にもそこに含まれているということ。

事務局 はい。それも想定しています。

事務局 よろしいですか。そのほかご質問はございませんでしょうか。どうぞ。

委員 9ページの3番、役員構成のイメージのところなんですけれども、串原でいいますと、開校時3年生になる生徒は1名です。2年生に当たる生徒は6名の予定です。そうした場合、これを見ますと3年生で2名、2年生で1名、合計、各地区3名ずつ選出されるというふうになるんですけれども、串原のような場合には、3年生と2年生の中から3名を出すというような捉えでよろしいでしょうか。

事務局 今回の6ページにあります検討委員会のメンバーを見ていただくと、ここでも串原中学校の保護者1名です。この時点で、これを検討する中でも実は話題になっておりました。ただし、その時々に応じてどうなるか分からないということで、原則そうしましょうよと。ただし、人数的とか状況によって、1名しか選出されないときも、これもやむなしという考えの下で、原則という形のイメージをもっておりますので、串原のご意見は十分聞いていますので、ちょっとここ説明はしていませんでしたけど、そういう形で進めたいと思います。

事務局 その他、ご質問、ご意見等ございましたらお願いいたします。よろしいでしょうか。ありがとうございます。

それでは、課題ナンバー14、PTAの組織運営に関することにつきましては、この内容で理事会に提案させていただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。（「異議なし」と呼ぶ者あり）ありがとうございました。

では、続きまして、課題ナンバー16、教育課程と教育内容に関することについて、教育活動・学校事務部会より説明をお願いいたします。

それでは、事務局から説明のほうをさせていただきます。

10ページからになります。よろしくお願いいたします。

今回ご審議いただくのは、恵那南中学校の日課になります。まず、恵那南中学校の日課で大切にしたいこととして、大きなところとしては、話せる仲間と頼れる先生と楽しい学校生活を送れるような日課にしたい。静かに話を聞くだけの時間というのを少なくして、生徒同士が語り合い、活動する時間を多くしたいという願いの下、細かなところを詰めてまいりました。

順番に確認していきますと、朝がどうしても遠くから来る子もある中で、少しでもゆとりをもった生活ができるようにやっぱりしてあげたいということを考えて、朝の7時以降に家を出れば間に合うというようなバスの出発時間にしたいということを考えました。

そこから考えたときに、全てのバスが同時に到着するわけではありませんので、確認したところ、7時50分から8時5分ぐらいに到着するというふうにすれば、全員が7時以降に家を出れば、あのバス停から乗っていけるというふうにできるということでしたので、このような開始時間を考えました。

それに併せまして、学校の開門ですけれども、やはり生徒の安全を確保するという意味のためにも、7時50分の最初の子供たちが着くタイミングで、学校を開けるというふうにしたいと考えました。

そして、バスの降車場からの移動時間等もありますので、そういった時間と教室での準備時間10分を見て、最後にバスで到着した子であったとしても、この10分間があってから、朝の会が正式にスタートするというような日課にしていきたいということを考えました。

下の段に参ります。そして、開門から8時15分までの間にいろいろな時間帯で生徒が到着するわけですが、ここのところをフリータイムという名前で、次の活動の準備や読書、学級や委員会等の活動、仲間との語らい、休憩というような中から、自分で考えて主体的に活動する時間というふうにしていきたいということで、ここのところを続けております。

結構、バスに揺られてきて疲れた子にとっては、休憩等もいると思いますし、仲間との語らいを楽しみたいという子もいれば、委員会の活動をしたいというような子たち、今、自分にとって必要な時間を考えるという時間で設けてまいります。

その分、朝の会の時間というのは、本当に最小限の連絡、確認等で5分間で、ここは大事なことはそのまま残しながら過ごせるのではないかとということで、5分で設定しております。

ただ、ここにつきましても、開校してみたところで生徒の様子というのはまた変わってくるところがありますので、ストレスの少ない形に随時調節はしていただこうと思っておりますけど、まず開校時はこういうことでスタートしていきたいというふうにして思っておるところです。

11 ページです。そして、授業時間としては50分掛け6時間、これはやはり確保しなければなりません。そして、帰りの会の前にもフリータイム2というのを設けて、自分で考えて過ごす時間というのを大事にしたいと思っております。

同じく、帰りの会も5分間として、大事な連絡、大事な話から優先して確認する時間をもって参ります。

下の段です。生活の安全の確保ということを考えて、季節に応じて明るいうちに帰宅できる下校時間はやはり大事にしたいということで、春から秋頃が4時半頃、冬の時間になってきたときには3時40分ということで設定していきたいというふうにして考えております。

朝部活や延長部活、休日部活などは原則行わないという予定です。部活がある日であっても、下校のバスは1便ということで、2便出すということが時間的に難しいですので、バスの利用者にはメディアスペースのほうを開放して、有意義に過ごせる環境を確保していくという日課を考えました。

徒歩の下校、保護者による迎えがある場合は、下校することができるというふうにして考えております。

こういった中で部会のほうで出た意見として、フリータイムというところがやはり願いが込めた時間になっていますが、この願いをきちっと伝わるように日課表の中にも続けてほしいということや、部会案とするときには掃除があつて6時間のものと、掃除がなくて6時間のもの、そして5時間授業で掃除がある、この3パターンについては、部会案として提案してほしいということがありましたので、そのように今回は考えております。

12 ページのほうを御覧ください。

12 ページのほうには、今、お話しした3パターンを一覧にまとめたものになります。さらに詳細なものにつきましては、15 ページ以降のところに3種類つけさせていただいております。

学校が実際に始まってからは、この3パターンだけではなくて、さらにいろいろな特別な日課等が含むことは当然考えられるんですけども、基本的な日課案としてこの3つを示しながら、大事にしてほしいところというのがきちっと入るような日課にしていっていただきたいというふうにして考えております。

また、いただいた意見として、朝の時間に図書館とかを使えないのかというようなご意見等もありましたけれども、こういったところにつきましても開校後の生徒等の様子を見ながら、もちろんそういったことが可能であれば、実施していったほうが良いというふうにして思っておりますけれども、開校時、無理をさせてはいけませんので、まずは開校のときは朝のフリータイムのところで図書館等を使うということについては、まずはないというところでスタートしていくというのが部会案となっております。

以上になります。

事務局 ただいまの説明につきまして、理事会で提案することも踏まえ、何かご意見、ご質問等ありましたらお願いいたします。どうぞ。

委員 6時間授業で、12ページなんですけど、掃除のありなしということで、それぞれスケジュールが示されておりますけれど、これ掃除のありなしとはどういう形でありなしを選択されるというか、掃除なしもあるというのはどういう。

事務局 ありがとうございます。今、部活動の時間等を確保しようと思うと、どうしてもなかなか帰りの時間が4時半ということで、これよりも遅くすることはできないですし、職員の勤務等もある中で、少しでも長く部活動の時間を確保するというようなときには、この掃除なし日課のほうを使って見ていただきますと、部活動等が3時半から4時15分までという、45分間確保できるようになります。

委員 6時間で掃除ありのほうにしますと、ここが30分しか確保できませんので、その委員会や部活などの中身に応じて、長く時間を確保したいときには掃除なし日課、そして短い時間で済まされるようなものときには6時間で掃除あり日課というようなものを、状況に応じて使っていくということになります。

委員 部活のためにこういう設定が一応されたというようなことですかね。

事務局 はい、そうです。

事務局 そのほかご質問等ありましたらお願いいたします。よろしいですか。

それでは、課題ナンバー16、教育課程と教育内容に関することにつきまして、この内容で理事会に提案させていただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。（「異議なし」と呼ぶ者あり）ありがとうございます。

では、続きまして、課題ナンバー17、学校行事に関することについて、教育活動・学校事務部会より説明をお願いいたします。

事務局 よろしく申し上げます。

12ページの下段からになります。

恵那南中学校の宿泊を伴う行事につきましては、既に総会のほうを通っておりますけれども、今回ご提案させていただくのはそれ以外の行事というところになります。

まず、大きなところとして、学級の絆を大事にした学校行事にしていきたいという願いの下で、1学期は旅行的行事で、学校と学年の人間関係の基礎をつくるということが既に予定が入っております。そして、2学期、3学期のところになりますけれども、2学期は体育祭と合唱祭で、学級の力を表現し絆を強める、そんな時期にしたいということ。そして、3学期は3年生を送る会で、学級と学年の成長を表現し、称え合い感謝し合う、そんな行事にしていきたいということで、案を考えました。

13ページになります。

まず、体育祭についてですけれども、学級のまとまりを崩さないチーム分けによる縦割りの団で競い合うということが、体育祭の基本的な行い方です。学年で学級数がそろわないというような場合もあろうかと思いますが、そんなときでも学級解体は行わずに、点数を調整して総合優勝を決めるというような形をつくっていくということです。そして内容は、学級、学年、全校による集団競技や集団演技を行うということを大事にしてほしいというのが、体育祭

についての案になります。

合唱祭については、学級のまとまりを基本として表現する合唱祭を行うということで、内容としては学級と学年合唱を行うという行事にしてほしいということ。そして3学期の3年生を送る会については、学級と学年の成長を表現し、たたえ合い感謝し合う会にするということで、内容としては言葉によるメッセージの交流と合唱を行うということを計画してほしいということで、案のほうを考えました。

いずれの行事につきましても、開催時期や場所につきましては、部会に提案することではなく、この案を基に学校のほうで進めてほしいという案にしようという部会案がありましたので、そこまでのところについては、ここの案からは外しております。

説明以上になります。

事務局 ただいまの説明につきまして、理事会に提案することも踏まえ、何かご意見、ご質問等ありましたらお願いいたします。よろしいでしょうか。
それでは、課題ナンバー17、学校行事に関することは、この内容で理事会に提案させていただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。（「異議なし」と呼ぶ者あり）ありがとうございます。

では、続きまして、課題ナンバー23、予算計画に関することについて、教育活動・学校事務部会より説明をお願いいたします。

事務局 よろしく申し上げます。

14ページになります。

令和8年度の恵那南中学校の学校徴収金についてでございます。学校徴収金といいますと、これまで学習費というのと積立会計という2種類を、5校とも行ってきました。このところにつきまして、部会案としては、まず学習費についてはこれまで同様に実施するということです。ただ、それぞれ5校の実態を踏まえて、教育の質は落とさずに、保護者負担が小さくできるようなものが工夫できるのであれば、そこのところは5校のよさを取り入れていくということを大事にしてほしいというところです。

そして取扱金融機関としては、JA山岡店に依頼をするということで進めたいというのが部会案です。そして積立会計ですけれども、こちらにつきましては恵那南中学校については実施をしないという方向で案を考えました。宿泊旅行や卒業アルバム代については、業者と直接やり取りするようにして進めたいというふうに思っております。およその金額を入学説明会の際に保護者に伝えておくことで、あらかじめ見通しをもって各家庭で準備をしていただくというようなことを考えております。

メリットとしましては、やはり学校が扱う金額を小さくすることができるというところや、保護者の状況に応じたお金の準備ができますので、そういったところがあるかというふうにして思っております。

説明以上になります。

事務局 ただいまの説明につきまして、理事会に提案することも踏まえ、何かご意見、

ご質問等がございましたらお願いいたします。よろしいでしょうか。

それでは、課題ナンバー２３、予算計画に関することは、この内容で理事会に提案させていただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。（「異議なし」と呼ぶ者あり）ありがとうございます。

これで、本日の議題は全て終了となります。幹事の皆様からほかに幹事会で協議すべき提案事項等はございますでしょうか。（発言する者あり）ありがとうございます。

それでは、これをもちまして第７回幹事会を終了いたします。９月の中旬には、理事会をまた開催する予定でありますので、理事の方におかれましてはよろしくお願いいたします。

それでは、皆様お気をつけてお帰りください。どうもお疲れさまでございました。ありがとうございました。